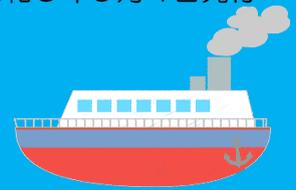


ゆうらくせん
遊楽船 9月号

施設長 福永政和

皆様、お元気でお過ごしでしょうか。残暑お見舞い申し上げます。

今年の夏も、うだるような暑さでしたね。私たちが子どもの頃は、夏となれば川や海で潜って魚を捕まえたり、釣りをしたりと自然の中で一日中遊び回ったものでした。それでも熱中症もさほど問題視されなかったのは、暑さが今ほどでは無かったのかも知れません。

国連事務総長が「地球沸騰化の時代が到来した。」と新語で危機感を強調したように、ハワイ州マウイ島をはじめ、世界中で起きている大規模な山火事、日本では北海道や東北でも35度を超える暑さや豪雨など、異常気象が常態になるのではと、地球の未来を危惧してしまいます。幸いに国分市街地から少々離れたここつかわきは大自然に囲まれ、暑い中でも木陰は涼しく感じます。

さて、8月初旬に利用者の新型コロナウイルスへの感染が確認され、いち早く施設敷地内のコロナ専用棟で対応したものの結果的に20名の利用者の方々が感染してしまいました。1年ぶりの感染確認となった今回は感染源が特定できず、収束まで3週間を要し、御心配と御迷惑をおかけしました。心からお詫び申し上げます。コロナ棟での隔離生活は本当につらかったらと思うのですが、みなさん頑張ってよくのり越えてくださいました。重傷者を一人も出さずに収束ができたことが幸いでした。既に8月24日から全員が通常の生活へ戻っています。お盆の帰省などの楽しみを先送りされたご家族もあったのではないかと心苦しい思いです。引き続き感染防止へは万全を期してまいります。

ところで、楽しみにされていたキャンプは予定どおり実施できました。私自身、海やキャンプが大好きなゆえに、今年も宮崎県の栄松キャンプ場を利用し、海水浴や釣りなどを楽しませてきました。自然の中での寝起き、野鳥のさえずり、キャビンテントでの生活、夜の静けさ、野外調理、ゆったりとした時間の中での語らい、釣りや水遊び・海水浴・シュノーケリングなどの自然体験…、多くの魅力をあふれもつキャンプです。つかわきでの日常から離れ、こうした自然の中に身をおいて仲間と過ごす時間は、心の安定にも繋がり大人になっても大切なことだと考えています。暑い中でも利用者のリクエストに応じた野外炊飯や遊びなど、安全に留意しながら職員が頑張ってくれました。幸運にも2班のキャンプ中は南郷町の夏祭りがあり、3000発の花火と屋台を楽しむことができました。日頃、夜の外出ができない生活ですので花火大会は貴重な機会、歓声をあげて喜んでいました。

さざ波の音を聞きながら、利用者の一人一人とじっくり語れたこと、笑顔を見られたことが私にとっても何よりも幸せな時間でした。この夏の良き思い出がまた1ページ増えました。

朝夕は涼しくなってきましたが、まだまだ暑い日が続きます。どうぞ御自愛ください。



自治会主催 8月誕生会

8月生まれは花木啓一さん、漆間久美子さん、福元大輔さん、阪井勉さんの4名。8月はコロナの感染やキャンプで全員が揃いませんでしたので9月2日（土）に8月の誕生会を開きました。

阪井さんはめでたく古稀（70歳）を迎えられました。こうして、皆さんが元気に過ごされるのが何より有り難いことです。ますますお元気で！



1班キャンプ（8/20～23）

年に一度のキャンプ。コロナから回復した利用者の方々も、久しぶりの開放感に笑顔でした。



2班キャンプ (8/23~28)



「つかわき2班キャン
in 栄松 2023」

気持ちいい〜っ！
久しぶりの海水浴



調理も役割分担。
頑張って作りました！ 😊

